

犬と猫と人が 幸せな暮らしを 考えてみませんか？



大切な家族として暮らす猫や犬がいる中、
つらい境遇で生きている犬や猫たちが
沢山いることをご存知でしょうか。
そんな現状を知ること、考えて、
そして、ほんのささやかでも
何か出来ることをはじめませんか？

cat&dog&me

artworks and design Kae Higuchi

Take free



このフリーペーパーはQRコードのURLよりダウンロード頂けます。
プリントや配布もご自由ですので、宜しければご活用下さい。
<http://fudetoneko.jugem.jp/?eid=650>

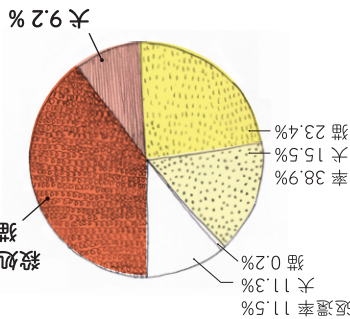
「迎える」と決めた時から、その子はあなたの家族。
犬も猫も人も幸せになれるように
守って欲しい事があります。

- ルールやマナーを守り、定期的なワクチン接種など健康管理に注意して、最期の時まで大切に愛情をもって飼育しましょう。終生飼育は飼い主の義務です。
- 首輪と迷子札、出来ればマイクロチップも装着して下さい。万が一の迷子や災害時にも役立ちます。そして迷子になった時はすぐに警察に届け出を！（犬猫は拾得物として警察に届けられます）
- 猫は室内飼いで。交通事故や感染症等、家の外には危険がいっぱいです。思いがけない繁殖や排泄物をご近所とのトラブルにも繋がります。猫は室内だけでも工夫することで楽しく暮らすことが出来ます。
- むやみな繁殖はしない。不妊手術をする。動物が安定した生活を送り、適切な頭数で飼育をする為には避妊、去勢手術はとても大切です。不妊手術は発情期のトラブルや問題行動を減らす他、病気の予防にもなり長生きにもつながります。また、素人による繁殖は障害のある子が生まれる危険も高く、安易にすべきではありません。

製作 cat&dog&me事務局
catanddogandme2016@gmail.com

cat&dog&meは幸せな犬や猫が増えたらいいなどの願いでチャリティー活動しております。
愛護団体ではありませんので、保護や引き取りなどは行っておりません。

殺処分数 55,998頭
犬 10,424頭 猫 45,574頭
（そのうち幼猫 29,654頭）
返還も譲渡もされず、残された約50%が殺処分に。
ネットショップに子犬や子猫がずらりと並び販売される現状の反面、センターに収容される犬や猫たちが、こんなにも沢山の命を絶たれる犬や猫たちが、こんなにも沢山の半数以上は生まれて間もない子猫たちです。



返還数 13,127頭 犬 12,854頭 猫 273頭
飼い主の元に帰れた犬猫はたったの11.5%。迷子になった犬猫に迷子札やマイクロチップが付けられていないことで、飼い主が見つけられない、また、猫は突然いなくなっても「どこかで幸せに暮らしている」という思い込みから、探さない飼い主が多いからではないでしょうか。
譲渡会や愛護シェルターが引き取ったり、次の生きるチャンスを得てセンターを出た子たちは収容数の約39%（犬の収容数のうち42%、猫の収容数のうち36%）

環境省統計資料による 平成28年度犬猫収容状況 収容数 犬113,799頭 猫41,175頭 犬72,624頭 猫26,613頭 (収容数のうち犬猫は45,827頭)

無責任な飼い主による飼育放棄や迷子、所有者がいないことで動物愛護センターや保健所に引取られた犬や猫は平成28年度、年間約11万4千頭。そのうち、約5万6千頭がやむをえず殺処分されています。H25年の法改正（動物愛護管理法）により引取の条件が以前より制限され、数は減少傾向にありますが、それでもゼロにはまだ程遠いのが現状。「引越し先では飼えない」「経済的に苦しくなった」「高齢になり世話が大変」また、「増えすぎてしまった」「餌をあげていない野良猫が子供を産んだ」など、引き取りを希望する相談は、動物愛護・動物管理センターに変わらず多く寄せられ、その件数は以前より多くなってきたとも、手放す理由は様々ですが、それは全て「人間の都合」であり、命を軽視するマニラの問題や、社会の歪を犬たちや猫たちが引き受けさせられているとも言えるのではないでしょうか。人が中心のこの社会では、ペットたちの命は私たちに委ねられています。人を含めた動物の「いのち」を大切に、優しい社会となるように、ひとりひとりが出来ることを始めてみませんか？



私たちが共に暮らし、毎日を幸せにしてくれる犬や猫たちの為に出来ること、、、それはまず『知ること』かも知れません。
私たちの生活を様々な形で豊かにしてくれる動物たち。彼らは家族と同じような、かけがえのない存在です。
そのような犬や猫たちが毎年5万頭以上も殺処分されているという、とても残念な事実をご存知ですか？